平成30年度 有備館夏季企画展

日本☆安倍家天文道天文生

名取春仲

―奥羽に残る春仲一門のレガシー―

写真：
須江家に残る「天球儀」(下)と「地球儀」(上)

背景：
天文瓊統巻八より「紫微垣図」

平成30年

6月5日(火)～8月5日(日)

会　　場：旧有備館および庭園

開館時間：午前9時～午後5時
（最終入館 午後4時30分）

休 館 日：月曜（祝日の場合は翌日）

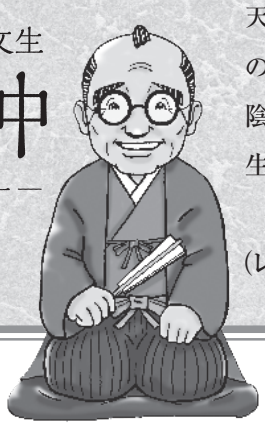
入 館 料：一般 300円　高校生 200円　小・中学生 150円

主催／大崎市教育委員会　お問い合わせ／大崎市教育委員会文化財課 〒989-6492 宮城県大崎市岩出山字船場21 電話 0229-72-5036

日本☆安倍家天文道天文生

名取春仲

— 奥羽に残る春仲一門のレガシー —

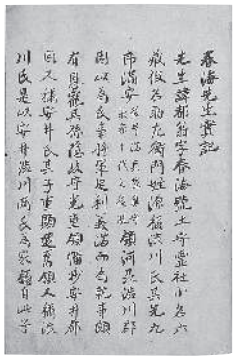


岩出山城下の造り酒屋名取屋に生まれ育った権右衛門（春仲）は、「安倍家天文道」を学び、神道・兵法・暦術を究め、天文地理に通じました。近代天文学の祖と称される「渋川春海」の学統に連なる証の「春仲」の号を授けられ、陰陽師安倍晴明の子孫家である京都土御門家の直弟門人となり、天文生の称号を受け、奥羽の地で多くの門人を育てました。

本展示会では名取春仲とその門人たちが遺した学問上の遺産（レガシー）にスポットをあて、彼らの人物像や学問内容を紹介します。

安倍家天文道とは？

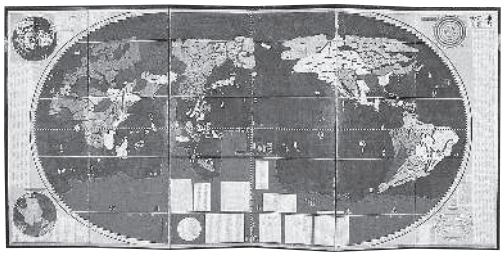
安倍家は陰陽師として名高い安倍晴明を祖とし、室町時代以降は子孫が「土御門家」を名乗りました。春仲が所持していた記録には、安倍家天文道の創源は「土御門泰福（やすとみ）卿」であり、その統伝を受けた渋川春海を学問の祖としています。渋川春海は日本で初めて自らの天体観測に基づいた暦を作成した人物です。



「春海先生実記」

名取春仲の門人たち —仙台藩領—

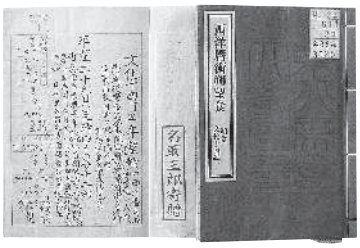
近年、春仲の高弟狩野将直と、春仲死後の後継者となった大江廣次、須江充頼の子孫家から膨大な古文書・記録類が発見されました。多くの資料を遺してくれた門人たちを中心にその人物像に迫ってみます。



春仲高弟狩野将直所持の「坤輿万国全図屏風」

名取春仲と仙台藩天文学統

春仲は師の桜田利慶を通じて仙台藩の天文学統に関わる記録や、秘伝書を多数受け継ぎました。その膨大な記録の中からこれまで知られていなかった仙台藩の天文学統に関する史実を紹介します。



「西洋暦術朔望食」

名取春仲顕彰碑（栗原市一迫）

名取春仲の門人たち —羽州村山郡—

春仲の教えは羽州村山郡で独自の広がりを見せました。羽州の門人たちは春仲の取次ぎによって、次々と土御門家の直弟門人となっていきます。直接京都に上るものもあり、陰陽師の免許を受けるものも出てきました。

羽州門人塩野小四郎宛「天学免許状」

須江家に残る天球儀・地球儀

春仲は、渋川春海の学問を継承するものとして、天球儀・地球儀の製作に関わりました。現在須江家に残る天球儀・地球儀はその流れにある資料です。

関連事業

七夕☆星空観賞会

平成30年 7月28日（土） 19時～

御改所で企画展に関する講演後、岩出山伊達家当主が眺めた夜空の星々に思いを馳せ、日頃見ることが出来ない庭園での星空観賞を行います。

講演 **「春仲が見た中国星座」**　講師 大崎生涯学習センター 遊佐　徹 氏

対　　象：小学生（保護者同伴）

申込方法：大崎市教育委員会文化財課へ直接電話又はFAXで申込
〈申込期間〉6月29日（金） 午後5時まで

定　　員：30名（要事前申込、申込多数の場合は抽選）

みどころ紹介！ミニ講座

平成30年 6月29日（金）・7月　7日（土）

①午前11時～ ②午後2時～
（各回1時間程度）

企画展の見所や展示資料についての解説を行います。

定　　員：20名程度（文化財課へ要申込）

料　　金：入館料のみ必要

集合場所：岩出山地区公民館（有備館向い）